

積ん読コレクション 丹沢関係資料編 畠堀操八

〔初めて丹沢の地に足を踏み入れたのがいつだったか記憶にないが、おそらく 50 年以上、丹沢の全域を歩き回った折々に集めた資料のリストをつくってみた。系統的に研究したものではなく、そのつど思いついて集めた雑多なコレクションであるが、このように電子化しておけば、若い人の研究の手助けになることもあるだろうかと。〕

2024年11月 畠堀操八

《一般の単行本》

- 『ホントに歩く大山街道』（中平龍二郎著、風人社、2007年、初版1刷）全冊コピー
- 『手作り楽しいガイドブック 相模大山 大山今昔史跡巡り』（宮崎武雄著、石井久恵英訳、いせはら観光ボランティアガイド&ウオーク協会、平成31年）原本
- 『大山詣り』（川島敏郎著、有隣新書、有隣堂発行、平成29年）9～41ページ、コピー
- 『大山不動と日向薬師』（宇都宮泰長・鈴木隆良著、鵬和出版発行、昭和56年）原本
- 『丹沢の行者道を歩く』（城川隆生著、白山書房発行、2005年）原本
- 『丹沢・大山・相模の村里と山伏～歴史資料を読みとく』（城川隆生著、夢工房発行、2020年）原本
- 高橋千劔破「大山一雨降山信仰と大山詣り」（『名山の日本史』高橋千劔破著、河出書房新社発行、2004年）183～193ページ、全冊コピー
- 高橋千劔破「丹沢山一谷多き尊仏様の山」（『名山の民俗史』高橋千劔破著、河出書房新社発行、2009年）140～150ページ、全冊コピー
- 『むかし、中原は桃の里』（『むかし、中原は桃の里』編集実行委員会編・発行、平成14年1刷、平成22年2刷）原本
- 秋山敏「当時の科学の粹集め 久地円筒分水」（『二ヶ領用水400年一よみがえる水と緑一』神奈川新聞社発行、1999年）126～127ページ、原本
- 『大山道中膝栗毛』（十返舎一九著『十返舎一九全集 第四巻』日本図書センター発行、昭和54年）45～148ページ、コピー
- 『大山道』（長後だより編集委員会編、藤沢市文書館保存、『長後だより』昭和47年3月10日～50年7月10日に連載された長後街道ルポ14回）コピー
- 鈴木正崇「相模の山岳信仰と修験道」（『かながわ山岳誌』日本山岳会神奈川支部著、山と溪谷社発行、2024年）53～61ページ、原本
- 『丹澤記』（吉田喜久治著、岳書房発行、1983年）原本
- 『丹沢物語』（朝日新聞横浜市局編、朝日ソノラマ発行、昭和48年）原本
- 『東京附近山の旅』（新島章男編、朋文堂発行、昭和12年）原本
- 『山っていいな 神奈川県山岳連盟創立50周年記念史』（創立50周年記念史編集委員会編、神奈川県山岳連盟発行、平成16年）原本
- 『丹沢今昔 山と沢に魅せられて』（奥野幸道著、有隣堂発行、平成16年）原本
- 『丹沢・山暮らし』（中村芳男著、どうぶつ社発行、1980年）原本

- 『続 丹沢 山紀行』（菅原信夫著、白山書房発行、2016年）原本
- 『丹沢 ブナは訴える』（神奈川新聞社編集局編・著、神奈川新聞社発行、かなしん出版発売、1993年）原本
- 『かながわの古道』（かもめ文庫、阿部正道著、神奈川県民部文化室企画、神奈川県合同出版発行、昭和56年第1刷、昭和57年第2刷）原本

《地誌・旅行記・縁起》

- 『新編相模国風土記稿 第一巻』（蘆田伊人編集校訂、大日本地誌大系（一九）、雄山閣、昭和60年発行）原本
- 『新編相模国風土記稿 第二巻』（蘆田伊人編集校訂、大日本地誌大系（二〇）、雄山閣、昭和60年発行）原本
- 『新編相模国風土記稿 第三巻』（蘆田伊人編集校訂、大日本地誌大系（二一）、雄山閣、昭和60年発行）原本
- 『新編相模国風土記稿 第四巻』（蘆田伊人編集校訂、大日本地誌大系（二二）、雄山閣、昭和60年発行）原本
- 『新編相模国風土記稿 第五巻』（蘆田伊人編集校訂、大日本地誌大系（二三）、雄山閣、昭和60年発行）原本
- 『新編相模国風土記稿 第六巻』（蘆田伊人編集校訂、大日本地誌大系（二四）、雄山閣、昭和60年発行）原本

このうち第二巻330～380ページ、第三巻1～156ページが大住郡に充てられ、第三巻105～129ページが大山・日向薬師の記事であるが、挿し絵が小さい

- 「新編相模国風土記稿卷之五十一 村里部 大住郡卷十 糟谷庄」（『新編相模国風土記稿 第三集』林衡等編、名著出版、昭和47年）所収、1～56ページ、コピー、大山関係記事であり、挿絵が大きくて細部まで識別しやすい
- 『「新編相模国風土記稿」を歩く―厚木市の歴史に触れてみませんか―』（厚木市古文書解読会編・発行、令和4年1月）原本
- 『「新編相模国風土記稿」が描くあつぎ展 令和4年1/15～3/6 会場/あつぎ郷土博物館』チラシ原本
- 渡辺華山「游相日記」（『日本庶民生活史料集成 第三巻』谷川健一編、三一書房発行、1969年）所収・コピー
- 『あつぎ郷土資料館特別展示 優しい旅びと・渡辺華山展―「厚木六勝」と「游相日記」』（あつぎ郷土博物館編、厚木市教育委員会発行、令和2年）原本
- 『大山道今昔―渡辺華山の「游相日記」から』（かなしんブックス3、金子勤著、神奈川新聞社発行、昭和60年）
- 「相中留恩記略 卷之八 大住郡之三」（『相中留恩記略 全』相中留恩記略刊行会編、有隣堂発行、昭和42年）
- 松浦武四郎『明治二〇年東海道山すじ日記』（『松浦武四郎紀行集（上）』吉田武三編、富山房発行、昭和50年）645～653ページ、原本
- 『神奈川県語り物資料―相模大山縁起（上）―』（神奈川県教育庁文化財保護課編、神奈川県教育庁指導部発行、昭和45年）原本・全冊コピー

- 『神奈川県語り物資料—相模大山縁起（下）—』（神奈川県教育庁文化財保護課編、神奈川県教育庁指導部発行、昭和46年）原本・全冊コピー
- 『伊勢原市内社寺縁起集 外二巻』（昭和四十七年度文化財報告資料、伊勢原市教育委員会社会教育課編、伊勢原市教育委員会発行、昭和48年）全冊コピー
- 『大山不動明王霊験記』（心蔵著、寛政4年）横浜市立大学学術情報センター蔵書、同センター「貴重書 月替わり展覧会リーフレット（91）」鈴木麻衣子氏による紹介
- 城川隆生「地方霊山の入峰空間と寺社縁起—丹沢と大山寺修験—」（『山岳修験』第39号、2007年3月）コピー
- 『あつぎ縁起書の世界—神さま仏さまのプロフィール—』（第15回展示、厚木市郷土資料館編、厚木市教育委員会発行、平成24年）原本

《地図・絵画》

- 『大山図』『大山寺境内前不動堂辺図』『不動堂辺図』『石尊社辺図』（『新編相模国風土記稿 第三集』林衡等編、名著出版、昭和47年）所収、1～35ページ、コピー
- 『資料1 大山観光マップ』『資料2 江戸時代の大山想像図』（『手作り楽しいガイドブック 相模大山 大山今昔史跡巡り』（宮崎武雄著、石井久恵英訳、いせはら観光ボランティアガイド&ウオーク協会、平成31年）巻末綴じ込み拡大コピー
- 『相模大山散策案内絵図』（相原但馬製作、伊勢原市大山437、0463-95-2038）原本
- 『丹沢・大山・宮ヶ瀬観光マップ』（広域行政連絡会発行、2021年初版、2023年増刷）原本
- 『旧中郡の古のつながりを紡ぐ観光マップ 秦野 伊勢原 平塚 大磯 二宮』（中栄信用金庫・中南信用金庫発行、2023年）原本
- 『相州大山景観絵図』（斉藤進・数子画、大山観光振興会製作、伊勢原市都市部都市政策課協力、2023年）原本
- 『二ヶ領用水知絵図 改訂版』（二ヶ領用水竣工400年記念事業実行委員会編、川崎市建設緑政局計画部企画課発行、2011年1刷、2018年2刷）原本
- 渡辺華山『厚木六勝』（前掲『あつぎ郷土資料館特別展示 優しい旅びと・渡辺華山展』にカラー版で収録）
- 『大山寺』（前掲『相中留恩記略』144～151ページコピー）
- 谷文晁『大山』（『日本名山図会』東陽道発行、明治36年）国立国会図書館デジタルライブラリーからダウンロード
- 『相州八菅山絵図』（『愛川町郷土誌』愛川町教育委員会・愛川町郷土誌編纂委員会編、愛川町発行、昭和57年）215ページ綴じ込み

《丹沢原生林》ファイル

- 『神奈川県文化財図鑑「史跡・名勝・天然記念物篇」』（神奈川県教育庁社会教育部文化財保護課、昭和53年3月）飛び飛びコピー
- 田村淳ほか「丹沢札掛モミ林におけるギャップ形成後1年目の高木性稚樹の更新」（『神奈川県自然環境保全センター研究部業務報告』No.30、2003）コピー

- 『大山モミ林の概要と枯損の実態』（神奈川県林業試験場、1990年12月）コピー
- 『神奈川県営林配置図』（神奈川県自然環境保全センター県有林部、平成13年10月）
原本
- 『丹沢考証林』（神奈川県自然環境保全センター県有林部）原本
- 『巨樹巨木調査〔調査箇所 清川管理区29林班（考証林）〕』コピー
- 『こじかも遊ぶ自然の教室』（民営国民宿舎 丹沢ホーム）原本

《研究論文・調査報告》

- 「修験道の発達と文化」「日向薬師」「大山と関東」「権田直助」（『伊勢原町勢誌』伊勢原町勢誌編纂委員会編、伊勢原町発行、1963年）目次、部分コピー
- 『伊勢原市内の大山道と道標』（再発見大山道調査報告書、再発見大山道調査団編、伊勢原市教育委員会発行、平成23年3月）、目次、1～17ページコピー
- 『相模大山の神仏分離事情と権田直助』（「ISEHARA・おもてなし隊」の調査研究報告書、斉藤勢吾脱稿、平成25年10月18日）
- 「寛保三年十月 日向山伏一件」（『伊勢原市史 別編社寺』伊勢原市史編集委員会編、伊勢原市発行、平成11年）、205～225ページコピー
- 「大山通史編」（『伊勢原市史 別編社寺』伊勢原市史編集委員会編、伊勢原市発行、平成11年）、429～548ページコピー
- 松岡俊「幕末明治初期における相模大山御師の思想と行動—神仏分離を中心として—」（『大山信仰』圭室文雄編、民衆宗教史叢書 第二二巻、雄山閣出版、平成4年）所収・コピー
- 沼野嘉彦「大山信仰と講社」（『日光山と関東の修験道』山岳宗教史研究叢書8、名著出版発行、1979年）コピー
- 『山北町史』（山北町編・発行、平成18年）「第四章 中世の山北のようす」「第十章 村の寺社と信仰」部分コピー
- 有賀密夫著『大山門前町の地理的研究』（自費出版、平成元年）全冊コピー
- 「阿夫利神社と大山講」（『千葉県の歴史 別編 民俗 1（総論）』千葉県史料研究財団編、千葉県発行、平成11年）356～364コピー
- 三輪修三『「岡上の山伏」入門』
『岡上の山伏』（三輪修三著、みたと出版、2021年）原本
- 畠堀操八「書策〔かいさく〕爺さん訪問 1」および水無川関連資料コピー

《『秦野郷土研究』総目次》

- 『秦野郷土研究 第1号』〔原本〕
- 私の心 露木虎治
- 秦野郷土文化会の歩み（其の1） 安本利正
- 主な行事
- 投稿のお願い
- 秦野市戸川出土古銭調査概報（付北矢名出土古銭） 星野隆夫
- 秦野市内の廃寺（一）

『会報』（秦野文化協会）昭和三十五年第二号より 道祖神について 岩田達治
一寸の虫五分の魂 榎本慶子

あとがき

◇原稿募集

表紙の題字は会長の露木虎治先生にお願いしました。

（編集・事務局：安本利正、発行：露木虎治、昭和50年4月1日）

■『秦野郷土研究 第2号』〔原本〕

仰大櫓偶感	岩田愛山
（表紙写真説明）寿徳寺本尊阿弥陀如来座像	安本利正
昔時の丹沢修験	千葉政晴
地藏尊順礼（秦野市内）	岩田達治
小田原領相模国足柄上郡大井庄菖蒲村切支丹宗門改御帳について	山口卓爾
旧秦野町水道と梶山良助氏について	野村 靖
秦野地方における乗り物の変遷	関 恒久
水無川と地質現象	相原宗由
雲	尾沢徳太郎
投稿 歳月と文化	広畑小教諭 杉山妙子
「会報」秦野文化協会 昭和三十六年5号より	
秦野市内の道標	安本利正

秦野郷土文化会の歩み 其二

主な行事

編集後記

表紙の説明

創刊号表紙の写真は柳川定春氏が昭和49年度文化財展「秦野の峠」に出品されたものの一枚です。

（編集・事務局：安本利正、発行：露木虎治、昭和51年1月15日）

■『秦野郷土研究 第3号 特集 大津雲山画伯遺作展』〔原本〕

序にかえて

大津雲山画伯第二回遺作展（於西公民館）

一、雲山画伯略歴

二、遺作展出品目録

三、雲山画伯を偲ぶ座談会

文責任 岩田敬之

口絵8ページ

庚申塔について —その種類—

安藤道蔵

道永塚の由来

山田 登

会報から

展観の辞（秦野文化協会 何故鼠の研究が必要か（梅沢英三）鼠の日本史（安本利正）
語源と字源（安本利正）子の日の民俗（井上政雄）大黒様と鼠について（安本利正） ね
ずみの唄（前場芳雄）干支について（梅沢英三）方言（安本利正）鼠の分類（柳川 定

春・前場芳雄) 鼠の駆除法 (柳川定春)

最近の市内出版物から

あとがき

表紙の題字は会長の露木虎治先生にお願いしました。

表紙の説明 この木造五輪塔は、古くは東田原にある源実朝公御首塚にあったもので、後世現在の石造五輪塔に代えて、金剛寺に納められたものである。

鎌倉初期のすぐれた美術品でもある。

(東田原金剛寺所有、鎌倉国宝館保管、撮影 飯塚栄一氏)

(編集・事務局：安本利正、発行：露木虎治、昭和 51 年 10 月 15 日)

■『秦野郷土研究 第 4 号』〔原本〕

秦野の古松

露木虎治

秦野地方における中世、特に荘園に関する地名の考察

石塚利雄

秦野盆地の川原の礫について

— 30 回日本地学教育学会発表原稿 —

秦野地学会

秦野の庚申塔について — その変遷 —

安藤道蔵

名古木上原・西沢の梵天講

尾沢徳太郎

民俗資料〔はだの〕わらべうた

野村 靖

日本狼について (Canis Lupus Hodophilax)

故梅沢英三

主な行事

秦野郷土文化会の歩み 其の三

安本利正

秦野郷土文化会 会則及び会員名簿

表紙の説明 『相中留恩記略』から天保十年ころの十日市場のようす。(徳川林政史研究所蔵)

(編集・事務局：安本利正、発行：露木虎治、昭和 52 年 5 月 1 日)

■『秦野郷土研究 第 5 号』〔原本〕

相模国の国府、駅家に関する諸説と秦野の十日市場について

石塚利雄

丹沢・秦野地方の食用・薬用植物

大原信男

秦野地方のことば

岩田達治

秦野詩堀西の唐松観

尾沢徳太郎

明治初期の教育 — 郷土の生んだ先駆者 —

山田 登

野村靖先生を偲ぶ

武藤槐屋

賛助会員名簿

秦野郷土文化会の歩み 其の四

安本利正

編集後記

表紙の説明 弘法山の百八松明 (たいまつ)

毎年八月十四・十五の両日に弘法山で行われる、南矢名瓜生野の行事である。

(編集・事務局：安本利正、発行：露木虎治、昭和 52 年 12 月 1 日)

《『秦野市史研究』『秦野市史』》

■『秦野市史研究』総目次 (秦野市立図書館蔵架、第一号昭和 56 年 3 月～第二十七号平成

20年3月) コピー

■『秦野市史研究』論文集 以下のコピーを収録

■鈴木章生「丹沢大山信仰の成立と展開—民衆参加の動向と信仰圏をめぐって—」(『秦野市史研究 第六号』秦野市史編さん委員会編、秦野市(市史編さん担当)発行、昭和61年3月) コピー

■安藤道蔵「神仏分離」(『秦野市史研究 第九号』秦野市管理部文書課市史担当編、秦野市発行、平成元年3月) コピー

■漆原俊「丹沢修験の幻像を追う—盗難の『役行者像』と転落の尊仏岩—」(『秦野市史研究 第十五号』秦野市史編さん委員会編、秦野市(市史編さん担当)発行、平成7年3月) コピー

■松岡俊「相模大山寺の『取次』制度の構造—媒介する宗教者の取次をめぐって—」(『秦野市史研究 第十六号』秦野市史編さん委員会編、秦野市(市史編さん担当)発行、平成8年3月) コピー

■小林謙光「秦野の富士信仰」(『秦野市史研究 第十七号』秦野市史編さん委員会編、秦野市(市史編さん担当)発行、平成9年3月) コピー

■小林謙光「ふじ道をゆく(蓑毛から田原・曲松・神山・吉田島經由関本まで)—富士講碑を訪ねて—」(『秦野市史研究 第十九号』秦野市史編さん委員会編、秦野市(市史編さん担当)発行、平成12年3月) コピー

■戸石七生「秦野の別当制度と神仏分離—土地所有関係を中心に—」(『秦野市史研究 第二〇号』秦野市史編さん委員会編、秦野市(市史編さん担当)発行、平成13年2月) コピー

■小林謙光「富士山東口より登拝した西相模の富士講碑社と行者たち」(『秦野市史研究 第二二号』秦野市史編さん委員会編、秦野市(市史編さん担当)発行、平成15年3月) コピー

■小林謙光「秦野の富士信仰(続)」(『秦野市史研究 第二五号』秦野市史編さん委員会編、秦野市(市史編さん担当)発行、平成18年3月) コピー

■「第四節 大山信仰と伊勢参りの旅」(『秦野市史 通史2 近世』秦野市発行、昭和63年) 686～698ページコピー

■「第一節 神仏分離と国家神道の成立」(『秦野市史 通史3 近代』秦野市発行、平成4年) 3～55ページコピー

■「第四章 信仰」(『秦野市史 別巻 民俗編』秦野市発行、昭和62年) 原本

■「大山信仰略説」「大山講と御師」(『漂泊と定住・御師の村』秦野市民俗調査報告書3、秦野市発行、昭和59年)

■清水照信「聖域の山へ—大山道」(『わが住む里 第五十八輯』藤沢市総合市民図書館発行、平成21年3月)

《『扣之帳』連載の平賀康雄論文ほか小田原市立図書館蔵架》

■平賀康雄「かつて英霊と湛えられし時あり—忠魂碑考—」(足柄周辺の碑文を探る④『扣之帳』20号、2008年8月、扣之帳刊行会) 小田原市立図書館蔵架・コピー

■平賀康雄「神仏詣での道しるべ—いにしへの道標考—」(足柄周辺の碑文を探る⑤『扣

- 之帳』21号、2008年9月、扣之帳刊行会) 小田原市立図書館蔵架・コピー
- 平賀康雄「昨今、路傍に神の嘆きを察するに一道祖神考一」(足柄周辺の碑文を探る⑦『扣之帳』23号、2009年3月、扣之帳刊行会) 小田原市立図書館蔵架・コピー
 - 平賀康雄「お日待ちの神様の代表格、今はその形骸のみ路辺に在り一庚申塔考一」(足柄周辺の碑文を探る⑧『扣之帳』24号、2009年6月、扣之帳刊行会) 小田原市立図書館蔵架・コピー
 - 平賀康雄「最長寿の歴史の語り部—その他諸々の石造物考一」(足柄周辺の碑文を探る⑨『扣之帳』26号、2009年12月、扣之帳刊行会) 小田原市立図書館蔵架・コピー
 - 平賀康雄「大山石尊大権現とその近隣」(相模周辺に廃仏毀釈の痕跡を探る①『扣之帳』27号、2010年3月、扣之帳刊行会) 小田原市立図書館蔵架・コピー
 - 平賀康雄「箱根権現、伊豆山権現」(相模周辺に廃仏毀釈の痕跡を探る②『扣之帳』28号、2010年6月、扣之帳刊行会) 小田原市立図書館蔵架・コピー
 - 平賀康雄「大雄山最乗寺とその周辺」(相模周辺に廃仏毀釈の痕跡を探る③『扣之帳』29号、2010年9月、扣之帳刊行会) 小田原市立図書館蔵架・コピー
 - 平賀康雄「鶴ヶ岡八幡宮、江ノ島弁天」(相模周辺に廃仏毀釈の痕跡を探る④『扣之帳』30号、2010年12月、扣之帳刊行会) 小田原市立図書館蔵架・コピー
 - 平賀康雄「相模松田氏の興亡と去来略説」(『扣之帳』31号、2011年3月、扣之帳刊行会) 小田原市立図書館蔵架・コピー
 - 「『扣之帳』総目次(第壹号~第六十五号)」(『扣之帳』65号、2019年9月、扣之帳刊行会) 小田原市立図書館蔵架・コピー
 - 曾我一義『曾我の里郷土誌』(曾我一義自費出版、平成4年) 小田原市立図書館蔵架・コピー、197~209ページ
 - 『図説・秦野の歴史』(「図説・秦野の歴史」編集委員会編、秦野市発行、1996年) 小田原市立図書館蔵架・コピー、81~83ページ
 - 西海賢治『小田原の野佛たち』(小田原市文化財団調査報告書 二十集、小田原市教育委員会、昭和61年) 小田原市立図書館蔵架・コピー、83~85ページ「大山講供養塔」の項
 - 「中井町の歴史」(『中井町誌』中井町誌編纂委員会編、中井町発行、平成2年) コピー、187~259ページ
 - 『大山ってどんな山』(中井町郷土資料館 特別展・講演会、平成26年11月) レジューメ原本
 - 「大磯と渡来人」「余綾国府の周辺」(『大磯町史 6 通史編 古代・中世・近世』大磯町編・発行、平成16年)

《『あしなか』論文》

- 『あしなか』第二〇輯〈関東特輯〉、昭和25年12月
「丹沢の話—主として札掛附近 秦野雑記 煤が谷村話 宮が瀬村話—」坂本光雄・コピー
- 『あしなか』第三〇輯〈卅人集〉、昭和27年6月
「道志の村芝居」羽賀正太郎
「丹沢つべこべ草」吉田喜久治

- 『あしなな』 第四一輯〈丹沢の話〉、昭和 29 年 7 月
 - 「丹沢山塊の想出」 武田久吉
 - 「丹沢徒然草」 田杭安太郎
 - 「丹沢団体登山」
 - 「丹沢武門譜」 中野啓次郎
 - 「神の川―長者小舎生活―」 小園末徳
 - 「丹沢風物誌」 釜井盛四郎
 - 「玄倉の道祖神」 近藤勝彦
 - 「相州大山の靈石」 久崎光生
 - 「西丹沢の水車」 伊藤堅吉
 - 「丹沢の草分け」 よしだきくじ
 - 「塔ノ岳孫伝記」 坂本光雄・コピー
- 『あしなな』 第四七輯、昭和 30 年 7 月
 - 「道志炉辺談」 伊藤堅吉
- 『あしなな』 第五四輯、昭和 31 年 10 月
 - 「大山街道・富士街道―大山みち―」 岩科小一郎・コピー
 - 「大山街道―渋谷から二子まで―」 南博・コピー
- 『あしなな』 第六五輯、昭和 34 年 10 月
 - 「道志村ばなし」 羽賀正太郎
- 『あしなな』 第七六輯、昭和 36 年 11 月
 - 「丹沢の山窩」 根本行道・コピー
- 『あしなな』 第七七輯〈大山特輯〉、昭和 37 年 1 月
 - 「相州大山の話」 根本行道・コピー
 - 「相州の大山講」 栗原一通・コピー
 - 「大山の道しるべ」 園尾哲郎・コピー
 - 「八菅修験」 中村昌治・コピー
 - 「八菅の行所」 千葉政晴・コピー
 - 「〈地図〉相州大山と八菅山」・コピー
 - 「八菅拾遺」 加藤秀夫　・コピー
- 『あしなな』 第八〇輯〈創刊二十五周年記念特輯〉、昭和 37 年 8 月
 - 「丹沢の五月十五日」 山岸猛男
 - 「丹沢の子種石」 坂本光雄
 - 「相模通志について」 荏原広成
- 『あしなな』 第八四輯、昭和 38 年 4 月
 - 「日向山伏の丹沢縦走」 根本行道・コピー
- 『あしなな』 第一八〇輯、昭和 58 年 6 月
 - 「相州大山周辺の寺社」 末広昌雄・コピー
- 『あしなな』 第二一四輯、平成元年 12 月
 - 「丹沢の炭焼」 佐藤芝明
- 『あしなな』 第二一七輯、平成 2 年 9 月

「大山の山村民俗見学会の集い」 佐藤芝明

■ 『あしなか』 第二二四輯、平成4年2月

「東丹沢鳥屋の獅子舞」 佐藤芝明

■ 『あしなか』 第二二九輯、平成5年1月

「東丹沢の山村民俗を訪ね歩く集い」 杉崎満寿雄

■ 『あしなか』 第二三二輯〈山岳信仰特輯〉、平成5年6月

「相模大山の信仰の今昔」 山岸猛男・コピー

■ 『あしなか』 第二三五輯、平成6年2月

「旧宮ヶ瀬村の伝説」 佐藤芝明

■ 『あしなか』 第二三八輯〈お犬信仰特輯〉、平成6年12月

「丹沢周辺の山犬信仰—丹沢・桂秋・箱根山城—」 佐藤芝明

〔山村民俗の会発行『あしなか』所収の丹沢関係論文。「『あしなか』総目次」（畠堀編集）より作成＝このホームページ内「総目次一覧」参照〕

《相模民俗学会『民俗 1号～80号』》

〔『民俗 1号～80号 相模民俗学会』相模民俗学会編、国書刊行会発行、昭和57年複製原本、巻頭総目次より；複製版巻頭の総目次のコピーであって本文照合はしていない〕

第一号（昭和二九年五月）

神奈川県の間伝承	大藤時彦
さねさしかがみ	青池竹次
御法度の牛を飼う	鈴木重光
甲斐の道祖神	大森義憲
サイトの火を恋いて	中村亮雄
おしやもじさま	中村昌治
屋外の盆棚	小林梅次
西向の講—相模愛甲郡愛川町半原—	小島瓊礼

第二号（昭和二九年六月）

愛甲郡に於ける「おおかみ」の信仰	中村昌治
わが住む町—鎌倉市浄明寺町—	大藤ゆき
栃谷探訪	中村亮雄
久慈郡の苗日	渡辺久男

第三号（昭和二九年七月）

九一色郷の古墓と道祖神	大森義憲
川崎稲毛神社の宮座	白井永二
墓で火を焚く話—中郡大山町—	小林梅次
鎌倉八雲神社の祭礼	春田助英
「とんでも杭」の話	中村亮雄

第四号（昭和二九年九月）

国府祭と守公神	小野和輝・平野孝国
津久井郡川尻村の養蚕習俗	安西勝
奈良田の採集—山梨県南巨摩郡西山村—	大森義憲
芦安村の話—山梨県中巨摩郡—	池田俊平
横浜在郷農家の伝承—二俣川町善部—	和田正洲
愛甲津久井の郡境決定にまつわる伝承	中村昌治
道志川の「鼻曲り鮎」	鈴木重光

第五号（昭和二九年一〇月）

神奈川県下の河童の話	中村亮雄
本牧神社の御馬流し	飯泉六郎
碓河原と野辺山の三軒屋—長野県南佐久郡南牧村平沢—	大森義憲
「からかさ屋の小僧」の話断片	川田俊雄
栃木県喜連川町探訪録—喜連川町小入並早乙女	和田正洲

第六号（昭和二九年十一月）

甲斐の野守	大森義憲
諏訪社伝承の一齣	中村昌治
マムシ聞書	安西勝
名馬磨墨と池月の生誕地	鈴木重光
長野県南佐久郡北相木村・川上村の民俗	小林海次

第七号（昭和二九年十二月）

鳥屋村そゞろごと—津久井郡鳥屋村—	佐藤英夫
安産の祈願その他—茨城県真壁郡上野村—	小森揺子
池間島憶え書	上田光男
ひよんどりの話	川崎玲子

第八号（昭和三〇年二月）

三浦半島子安民俗記—横須賀市大楠町秋谷子安—

第九号（昭和三〇三月）

探訪余談	小林梅次
津久井郡川尻村の産育習俗	安西勝
宮内の祭祀組織—川崎市—	小島瓊礼
愛甲郡煤ヶ谷村の婚礼	竹内武男

第一〇号（昭和三〇年四月）

津久井の河童と川天狗	中村亮雄
三浦半島探訪余滴	和田正洲

第一一号（昭和三〇年五月）

フオクロアという言葉	大藤時彦
困ったこと	小林梅次
宿と市神	大森義憲
伊豆諸島に於けるオタイサマ	坂口一雄
赤い旗と手拭（随筆）	内海延吉
なんどき橋の由来	古木富美子

第一二号（昭和三〇年七月）

泥棒神の昔話	丸山久子
川崎市小向の獅子舞	山口正道
津久井郡城山町の葬送習俗	安西勝
北相模に生きる古語	中村昌治

第一三号（昭和三〇年九月）

両墓制の分布について—神奈川県と両墓制—	最上孝敬
新野聞書—長野県下伊那郡且開村大村—	池田俊平
煤ヶ谷村の狩猟・兩乞など	竹内武男
鳥屋の手まりうた—津久井郡津久井町—	佐藤英夫
佐渡の憑きもの	阿部礼子
童戯の思い出（随筆）	上田康雄

第一四号（昭和三〇年十一月）

小豆とぎの怪	郷田洋文
対馬の家の神と墓	瀬川清子
ダイダラ坊拾遺	安西勝
北相模の両墓制について	中村昌治
猪守	小島瓊礼
生名の島（随筆）	小林隆代

第一五号（昭和三十一年一月）

イチッコとイズナ	土橋里木
子守唄についての一考察	馬場富子
深谷の講其の他	中村亮雄
信州山室聞書—上伊那郡三義村山室—	池田俊平
地神様のこと	和田正洲

オワケサマ

福岡英雄

第一六号（昭和三一年三月）

大島節覚書

坂口一雄

牟礼の榛名講—東京都三鷹市牟礼—

池田俊平

鷺にさらわれた赤子

小島瓊礼

入門民俗採訪

小林梅次

第一七号（昭和三一年五月）

鈴木重光翁の古稀を祝して

中村亮雄

中津川の「鮎かつぎ」について

鈴木重光

佐渡畑野村聞書雑記

丸山久子

採訪ノートから（一）—津久井町長竹—

佐藤英夫

玉里聞書—岩手県江刺郡江刺町—

小島瓊礼

池間島の巫女

上田光男

愛川町民俗断片

和田正洲

五六月の採訪

小林梅次

第一八号（昭和三一年七月）

東国の鶺鴒

最上孝敬

ウチイナリ其他

鎌田久子

採訪ノートから（二）

佐藤英夫

練馬の餅搗唄ほか—東京都練馬区豊玉—

池田俊平

第一九号（昭和三一年九月）

奥伊豆の当家制—賀茂郡上河津村河合野のネギナカマについて—

桜井徳太郎

大口真神と狼

長谷川一郎

赤頭巾、赤纏天の「しおき」

中村昌治

煤ヶ谷村宮瀬村民俗雑観

竹内武男

カメノ横腹ツンノキ坊主—座頭話の一例—

小島瓊礼

第二〇号（昭和三一年十一月）

相模平野の盆行事

渡辺勲

横浜市戸塚区上郷町の民俗断片

福岡英雄

築沢聞書断片—米沢市築沢字屋敷・栃沢—

池田俊平

築沢の童唄—山形県米沢市大字築沢—

若月麗子

採訪ノートから（三）—山梨県南都留郡秋山村桜井—

佐藤英夫

ジェットウニチ

小林梅次

ナグル・タメラウ

和田正洲

横浜本牧のオンマ流し

小林梅次

第二一号（昭和三二年一月）

うれつき塔婆について	菊池武紀
加賀の里方交渉	今村充夫
築沢覚書—山形県米沢市大字築沢—	草川隆
築沢の山仕事見聞—米沢市築沢字屋敷・栃沢・北小屋・窪—	池田俊平
動詞「待つ」の活用	安西愈
チャアビとカヤカヤ	小林梅次
丸石の屋敷神	大藤時彦
手まり唄一つ	安西愈
アダナのこと—横須賀葉山附近の調査から—	前田吉穂

第二二号（昭和三二年三月）

三隣亡のこと	小島瓊礼
石川県旧押野村民俗拾遺	今村充夫
築沢の信仰—米沢市築沢字屋敷・栃沢—	池田俊平
子供の正月行事	関山守弥
福泉寺の御詠歌	中村昌治
相模津久井町鳥屋の正月行事（一）	坂間則仁
榊の神輿	大藤時彦
カンダのマチのこと	中村亮雄
どうろく神	小林梅次

第二三号（昭和三二年五月）

奥伊豆の同族祭祀と若者組	西垣晴次
津久井町鳥屋民俗断片（一）〔山・炭焼〕	坂間則仁
築沢の俗信ほか—米沢市築沢字屋敷・栃沢—	池田俊平
入らすの山—愛媛県南宇和郡採訪録（一）	和田正洲
茨城のササ神その他	本橋伝

第二四号（昭和三三年七月）

新島のカメコギ	坂口一雄
ミサキ—愛媛県南宇和郡採訪録（二）—	和田正洲
北相模の子墓について	中村昌治
疱瘡神のオレイと晦日払い	大谷忠雄

第二五号（昭和三二年九月）

嫁のみうり子供のみうり	大森義憲
南宇和郡のまつり神（一）—愛媛県南宇和郡採訪録（三）—	和田正洲
骨を埋めかえる墓	小島瓊礼

浄法寺の年中行事—岩手県二戸・浄法寺—	関山守弥
津久井町鳥屋民俗断片（二）〔俗信・伝説〕	坂間則仁
安房忽戸の行事	立石十九二

第二六号（昭和三二年一月）

シバハナ小論	坂口一雄
勝浦の年中行事—千葉県夷隅郡勝浦町新宮—	草川隆
南宇和郡のまつり神（二）—愛媛県南宇和郡探訪録（四）	和田正洲
日置川町の両墓制	中村亮雄
東金市附近の虫送りについて	川戸彰
千葉県東金近在雑記	小林梅次
アンバ様その他	林峯子
茨城神栖村の伝承	神崎節子
疱瘡の話	草川隆
迎え馬	小林梅次

第二七号（昭和三三年一月）

庚申待と八日待	大島建彦
神奈川県津久井郡名手民俗ノート	安西兪
南宇和郡のまつり神（三）—愛媛県南宇和郡探訪録（五）	和田正洲
五島幾久山の若者組—長崎県南松浦郡玉の浦幾久山—	関山守弥
伊勢吉漁師聞書（一）—鎌倉市腰越—（遺稿）	土屋秀四郎
荒神のイキアイ—香川県小豆郡小豆島土庄町—	和田正洲

第二八号（昭和三三年三月）

鉄の獅子舞—横浜市港北区鉄町上鉄—	小林梅次
津久井町鳥屋民俗断片（三）〔農耕〕	坂間則仁
経石	中村昌治
横浜市港北区西南部の稻荷信仰	大谷忠雄
和田の話—神奈川県津久井郡佐野川村—	草川隆
伊勢吉漁師覚書（二）—鎌倉市膜越—（遺稿）	土屋秀四郎
でがね田に就いてのメモ	大塚博夫

第二九号（昭和三三年五月）

おたな様資料（一）	若月麗子
両墓制に関する考察	菊池武紀
神奈川県山北町聞書	小林梅次
伊勢吉漁師聞書（三）—鎌倉市腰越—（遺稿）	土屋秀四郎
“鬼の眼をぶつつぶせ”	藤森巖

第三〇号（昭和三三年七月）

日向の田遊—静岡県安倍郡大川村日向—	小林梅次
山の神その他—愛媛県南宇和郡採訪録（六）—	和田正洲
伊勢吉漁師聞書（四）—鎌倉市腰越—（遺稿）	土屋秀四郎
道志村の焼畑慣行について	坂間則仁
荒神さまとノボリガネ	安西愈
瘡守稲荷	前田吉穂

第三一号（昭和三三年九月）

オシラ神の問題	大藤時彦
おしらさまと詣りの仏	及川勝穂
オコナイ様の話	若月麗子
山形県東田川郡 同族で祀るオコナイ様	若月麗子
岩手県江刺郡 伊勢七と詣りの仏縁起	小島瓊礼
山形県庄内地方のオコナイ様信仰をめぐって	佐藤光民
神体のないオヒラサマ	小島瓊礼
北相模のシラガミサマ	安西愈
家でまつる神々—岩手県—	森口多里

第三二号（昭和三三年十一月）

庚申の昔話	大島建彦
伊勢吉漁師聞書（五）—鎌倉市腰越—（遺稿）	土屋秀四郎
カヤカベなど	福村節雄
長崎県西彼杵郡聞書	小林梅次
子墓	大藤時彦

第三三号（昭和三四年一月）

《道祖神特集号》	
道祖神の祭り方	大藤時彦
庚申雑記—青森県八戸市—	小井川潤次郎
ドウソジンサン—宮城県伊具郡—	黒須主計
道祖神と道祿神—山梨県—	大森義憲
信州里山辺の道祖神	向山雅重
福井県における道祖神	斎藤槻堂
四隅の神—滋賀県—	橋本鉄男
伏せられた道祖神—和歌山県日高郡—	野田三郎
鳥取県の道祖神	田中新次郎
サイ（サエ）の神—山口県—	松岡利夫
土佐における行路を守る神への信仰	桂井和雄
伊予の道祖神信仰	森正史

壱岐の島の道祖神

山口麻太郎

第三四号（昭和三四年三月）

《神奈川県道祖神特集号》

津久井郡の道祖神雑観

鈴木重光

城山町道祖神点描

安西勝

道祖神供養碑

福岡英雄

横浜北部の道祖神

大谷忠雄

形態的に見た厚木市玉川地区の道祖神

角田浩一

鹿兒島のセノカン

村田熙

第三五号（昭和三四年五月）

漁業と民俗（一）—伊勢吉漁師聞書に寄せて—

内海延吉

「ヤモメ岩」地名断片

坂口一雄

沖縄の道祖神信仰

小島瓊礼

北蒲原郡笹岡村の年中行事

横山登美子

甲州道志の垣内（一）

和田正洲

新九郎屋敷

草川洲

伊勢吉漁師聞書（六）—鎌倉市腰越—（遺稿）

土屋秀四郎

第三六号（昭和三四年七月）

山の神信仰

大藤時彦

安芸国豊田郡田万里村聞書（一）

前沢明

神津島のエビのミヨ

坂口一雄

漁業と民俗（二）

内海延吉

伊勢吉漁師聞書（七）—鎌倉市腰越—（遺稿）

土屋秀四郎

第三七号（昭和三四年九月）

桶屋勲功記—桶屋の文芸史—

小島瓊礼

雨乞とおしゃもじ様

大谷忠雄

万垢離と雨乞い

石塚兎之一

漁業と民俗（三）—伊勢吉漁師聞書に寄せて—

内海延吉

宮城の狐タカリ

畠山正寿

千葉県原木の狐ツキ

工藤マリ子

イチボとヒトオヤ

長浜清

安芸国豊田郡田万里村聞書（二）

前沢明

漂着神ノート

和田正洲

第三八号（昭和三四年十一月）

英雄敗走譚

土橋里木

桶屋が落城主を援けて塩を毎年貰った話	田中新次郎
横浜生麦の蛇祭	高林倉之助
甲州道志の垣内（終）	和田正洲
吉浜の年中行事	中村亮雄
安芸国豊田郡田万里村聞書（三）	前沢明

第三九号（昭和三五年一月）

佐渡の葬制—佐渡の子供の墓に就いての覚え書—	林道明
小津久を訪ねて	土橋里木
安芸国豊田郡田万里村聞書（四）	前沢明

第四〇号（昭和三五年四月）

《子墓特集》

子墓をめぐって—I 子供の葬法と墓制—	最上孝敬
子墓について	菊池武紀
子墓小考	保仙純剛
コバカとムエンサマ	大森義憲
北相模の子墓—赤子塚・水子塚—	中村昌治
子供の葬制等	中村亮雄

第四一号（昭和三五年六月）

民俗学と技術史との関連について	桜田勝徳
富士塚と六月一日の雪	小島嚶礼
鴨居の三山講と葬制（一）	大谷忠雄

第四二号（昭和三五年九月）

木曾の御岳講	宮田登
喜多見の槍かつぎ他	石塚兔之一
岡山市円山の王子宮	湯浅照弘
鴨居の三山講と葬制（二）	大谷忠雄
安芸国豊田郡田万里村聞書（五）	前沢明
相州江ノ島の漁撈についての覚え書	小川博
子安の伝説拾遺—三浦半島—	小島嚶礼

第四三号（昭和三五年十一月）

《特集 竜神とエビス》

竜神のことども	大藤時彦
家のエビス	小林梅次
竜宮から来た蛭子	小島嚶礼

西津軽のエビス	森山泰太郎
佐渡のエビスと竜神	和田正洲
千葉県市川市国府台のエビスコ	小林梅次
大磯の漁民信仰	小島瓊礼
道祖神と豊漁祈願	木村博
漁村研究五十年—内海翁の受賞を祝して—	大藤時彦

第四四号（昭和三六年二月）

沖縄伊是名島勢理客の村構成について	植松明石
芝生浅間と富士講集団（一）富士講の成立とその崩壊過程	大谷忠雄
「羽根は十六、眼は一つ」の民謡についてお願い	鈴木重光

第四五号（昭和三六年五月）

番匠に関する覚書	小島瓊礼
川倉と黒鋸—土木技術と民俗との関連について—	中村亮雄
奈良県吉野郡野迫川村北今西部落の「四日の行い	植松明石
元旦の葬式でもよい	小林梅次
芝生浅間と富士講集団（二）富士講の成立とその崩壊過程	大谷忠雄
領家の由来	大谷忠雄

第四六号（昭和三六年八月）

盆と正月の対位と暦法	小島瓊礼
蒲原地方の通過儀礼	横山登美子
薩摩郡の葬式と盆行事—鹿児島県薩摩郡高江村寄田—	沢江慶志

第四七号（昭和三七年一月）

多羅尾の甲賀三郎	福田晃
周南村の心意伝承—千葉県君津郡—	横山登美子
鉄火松の伝説	角田益信
千葉県山武郡聞書	小林梅次
牧野の民俗（一）	植松明石
女性も参加する地神講	小島瓊礼

第四八号（昭和三七年七月）

渡嘉敷島の話	大藤時喜
道祖神社—大阪府茨木市道祖本—	芦田英一
人生儀礼聞書（一）—大阪府豊能郡西能勢町上山辺—	福田アジオ
伝説二題—横浜市港北区十日市場町—	大谷忠雄
牧野の民俗（二）	植松明石
ネの神	宮田登

第四九号（昭和三七年九月）

佐渡のウカノモチ	和田正洲
那賀川の筏流し	伊川公司
人生儀礼聞書（二）—大阪府豊能郡西能勢町上山辺—	福田アジオ
牧野の民俗（三）	植松明石
茶湯寺の信仰について	木村博

第五〇号（昭和三八年七月）

《神奈川県境川特集》

柳田先生と神奈川県	大藤時彦
ヂミョウヂルイをめぐって	和田正洲
境川流域の屋根	小林梅次
境川水源挽歌	安西勝

第五一号（昭和三八年四月）

猟の話	小林梅次
和讃おぼえ書（一）	大塚博夫
花見行事の一事例	湯浅照弘
島田の鎮守祭	上野錦一
成田山講	宮田登
オミヒメサマ	和田正洲

第五二号（昭和三八年八月）

神奈川県 of 芸能	本田安次
佐渡島民俗聞書抄（一）	小川博
阿南の農耕儀礼	伊川公司
相模の盆踊り歌、その他	塩川建寿

第五三号（昭和三八年十一月）

佐渡島民俗聞書抄（二）	小川博
船名考	伊川公司
和讃おぼえ書（二）	大塚博夫

第五四号（昭和三九年一月）

《鈴木重光先生喜寿記念号》

木地屋と石屋と（足柄下郡）	中村亮雄
貰い子、その他	和田正洲
相模煤ヶ谷の炭焼	小林梅次
日常の食生活—旧三浦郡秋谷村子安の場合—	小島櫻礼

探訪余録	横山孝次郎
周南村の民謡	横山登美子
須賀のとんきょう話	田中宣一

第五五号（昭和三九年四月）

盂蘭盆会と施餓鬼会の一考察	菊池武紀
和讃おぼえ書（三）	大塚博夫
しばられ松—川崎市上作延—	角田益信
佐渡島民俗聞書抄（三）	小川博
鯰切り—岡山市海吉—	湯浅照弘
燕の子安貝	小島瓊礼

第五六号（昭和三九年六月）

北相模のカサ隠居分家	中村昌治
下伊那における青年団	平山和彦
桶屋勲功記続稿	小島瓊礼
赤子塚—愛甲郡愛川町半原細野—	大塚博夫
川崎北部民俗聞書	角田益信
憑きもの資料	大谷忠雄
伯耆大山の青木姓の木地屋について	田中新次郎

第五七号（昭和三九年九月）

神の膳の需要と供給	小島瓊礼
死者儀礼に関する若干の考察	菊池武紀
アカムシとり聞書—岡山県都窪郡妹尾町—	湯浅照弘
大磯町の漁撈習俗—神奈川県中郡—	福田八郎
明治時代のサンマの掴み捕り記事	桜田勝徳

第五八号（昭和四〇年一月）

根渡・三島・八幡合社の宮座—神奈川県足柄上郡大井町篠窪—	田中宣一
口寄せ巫女—宮城県登米郡登米町—	高杉悠子
青野原村宮本の家見念仏—神奈川県津久井郡青野原—	大塚博夫
佐渡島民俗聞書抄（四）	小川博
相模平野の伝説（一）	渡辺勲

第五九号（昭和四〇年四月）

村役と階層構成—岐阜県吉城郡神岡町寺林の場合—	河上一雄
契約について—山形県最上郡金山町—	岸和子
餓鬼道和讃—水戸市堀町—	鶴尾能子
須賀のスツとんきょう（素頓狂）—平塚市須賀—	渡辺勲

第六〇号（昭和四〇年六月）

山梨の両墓割について	大森義憲
十二所聞書（一）—鎌倉市十二所—	大藤ゆき
佐渡島民俗聞書抄（五）	小川博
新潟県高田市のゴゼ	篠宮はる子
七沢久助ものがたり（一）	渡辺勲

第六一号（昭和四〇年九月）

子墓の問題	柳田国男
十二所聞書（二）—鎌倉市十二所1—	大藤ゆき
徳本念仏の石碑	山口金次
静岡市北沼の民俗（一）—旧安倍郡千代田区北沼上則沢—	真鍋悦子
相州方言—[きょうくる]その他について—	渡辺勲
神奈川県方言集（一）	渡辺勲

第六二号（昭和四〇年九月）

『石神問答』における柳田国男の視点と方法	篠宮はる子
十二所聞書（三）—鎌倉市十二所—	大藤ゆき
茨城県昔話の採集状態	鶴尾能子
尋六堂筆録（一）—郷土の民俗—	磯貝尋六堂
神奈川県方言集（二）	渡辺勲

第六三号（昭和四一年三月）

ソビエト民俗学の領域とその特質	鶴尾能子
十二所聞書（四）—鎌倉市十二所—	大藤ゆき
静岡市北沼の民俗（二）—旧安倍郡千代田区北沼上則沢—	真鍋悦子
尋六堂筆録（二）—郷土の民俗—	磯貝尋六堂
神奈川県方言集（三）	渡辺勲

第六四号（昭和四一年五月）

甲斐の徳本と徳本行者	小丸俊雄
房州のアカフン祝	小川博
静岡市北沼の民俗（三）—旧安倍郡千代田区北沼上則沢—	真鍋悦子
尋六堂筆録（三）—郷土の民俗—	磯貝尋六堂
七沢久助ものがたり（二）	渡辺勲
神奈川県方言集（四）	渡辺勲

第六五号（昭和四一年十一月）

対日本民俗学批判についての一私見	宮田登
------------------	-----

都市移住者による大分県蒲江地方の口頭伝承 付「蒲江地方の子守唄」 鶴尾能子
半原の管巻唄—相州愛甲郡愛川村半原— 大塚博夫

第六六号（昭和四二年四月）

柳田国男先生書簡拾遺
半原地がため唄（地つき唄）—愛甲郡愛川町半原— 大塚博夫
神奈川県方言集（五） 渡辺勲

第六七号（昭和四二年五月）

一人前の条件 西村浩一
船印について 伊川公司
日本歌謡の本原といわれる仏教の声楽「声明」について 菊池武紀
閻魔王の戸籍しらべ 山口金次
底ぬけ袋其の他—愛甲郡愛川町半原沢平— 大塚博夫

第六八号（昭和四二年一〇月）

《鈴木重光先生追悼号》
鈴木重光翁を悼む 大藤時彦
靈前にささげる 佐藤英夫
大師河原のサイノカミ 中村亮雄
桃太郎譚の発端形式から 小島瓊礼
鈴木重光先生の思い出 日野資純
食物の話—鈴木重光氏談話筆記— 和田正洲
雲居寺のセガキ 小林梅次
昔話「おと兵衛山」 中村昌治

第六九号（昭和四三年一月）

山梨県の伝説の主人公たち—地域的差異と歴史的な性格— 福田アジオ
大磯の念仏講 福田八郎

第七〇号（昭和四三年五月）

青森県の口寄せ巫女探訪 高杉悠子
氏神天王様のことあれこれ（一） 磯貝長吉
七沢久助ものがたり（三） 渡辺勲
神奈川県方言集（六） 渡辺勲

第七一号（昭和四三年九月）

婚姻餞礼にみる「ツレ」 丸山美知子
枕石推考 安西勝
氏神天王様のことあれこれ（二） 磯貝長吉

第七二号（昭和四四年二月）

舟行権二百余年—川尻村と小倉村との高瀬舟による相模川船稼ぎの争い—	馬場厚
舟大工の伝承	西村浩一
「女の奥の手」	木村博
福井市国山の葬送習俗	田中宣一

第七三号（昭和四四年六月）

文学と民俗との間（上）—赤城山縁起物語の場合—	福田晃
木戸の諸職	西村浩一

第七四号（昭和四四年一〇月）

横浜の民家	小林梅次
魂祭り	山口金次
木曾の年中行事—長野県木曾郡大桑村和村—	倉石忠彦

第七五号（昭和四四年一二月）

産女と少童	土橋里木
川崎市登戸のサイノ神	角田益信
茨城県東茨城郡常澄村の民俗資料断片	西村浩一
福井市国山の婚姻・産育・厄年の習俗	田中宣一
資料「四季農誠書」について	磯貝長寅

第七六号（昭和四五年四月）

小一郎神信仰の研究—大分県国東半島を中心にして—	田辺正行
安産祈願のお守り（一）	大藤ゆき
落鮎捕獲禁止余話	馬場厚

第七七号（昭和四五年八月）

相模湾沿岸に於ける海士—特に江の島聞書及び民俗資料「スコシ」を中心に—	田辺悟
染物屋の伝承	西村浩一

第七八号（昭和四六年五月）

百村の氏子組織—栃木県那須郡黒磯町百村—	真野俊和
安産祈願のお守り（二）	大藤ゆき
秦野市の道祖神と庚申塔	尾沢徳太郎
小田原短報	山口貢

第七九号（昭和四六年一一月）

ほうづけとはなげえしばい—北相にみる負債整理の慣行—	大塚博夫
----------------------------	------

「安楽死」をめぐる民俗—「大般若理趣分」の功德— 木村博
佐島の年中行事（上）—神奈川県三浦半島佐島— 田中養子
民俗資料と博物館—収集法— 和田正洲

第八〇号（昭和四七年八月）
中津の房楊子 中村昌治
本誌分類目録

《八菅修験関係資料》

- 「八菅山」「七社権現社」（『新編相模國風土記稿料 卷五十七 村里部 愛甲郡卷之四』『新版相模國風土記稿 第三卷』（大日本地誌体系 21）蘆田伊人編・校訂、雄山閣発行、昭和 60 年）原本・コピー
- 『修験集落八菅山』（愛川町文化財調査報告書、慶應義塾大学文学部宮家準研究室編・著、愛川町教育委員会発行、昭和 53 年 3 月）コピー
- 足立原美枝子著「相州八菅山」（『八菅山の女たち』ふだん記新書 30、橋本義夫編、ふだん記全国グループ発行、1976 年）、（『相州八菅山』（ふだん記新書 318、合本復刻、2012 年）コピー
- 村田辨二・足立原美枝子著（『相州八菅山の修験 宝喜院』ふだん記新書 162、村田辨二・足立原美枝子編、ふだん記全国グループ発行、1985 年）、（『相州八菅山』ふだん記新書 318、合本復刻、2012 年）コピー
- 道興准后著『廻國雜記』（博文館編・発兌、明治 33 年）コピー
- 「愛川町の社寺・史蹟・文化財」（『愛川町郷土誌』愛川町教育委員会・愛川町郷土誌編纂委員会編、愛川町発行、昭和 57 年 3 月）目次、コピー
- 「八菅神社所蔵文書 1～280」「神分諸次第」（『愛川町古文書目録 1』愛川町郷土博物館展示基礎調査会報告書 第 1 集、愛川町古文書調査会・愛川町教育委員会編、愛川町教育委員会発行、2000 年 3 月）コピー
- 鈴木良明著「近世八菅修験と江戸役所及び本山役所」（『八菅周辺の歴史と信仰』愛川町郷土博物館展示基礎調査会報告書 第 4 集、愛川町郷土博物館展示基礎調査会・愛川町教育委員会編、愛川町教育委員会発行、1997 年 3 月）コピー
- 「相模國愛甲郡八菅村（浄書本）」（『神奈川県皇國地誌残稿 下巻』神奈川県図書館協会郷土資料編集委員会編、神奈川県立図書館発行、昭和 39 年）コピー
- 千葉弘著「冬至に合わせた八菅神社」（『県央史談』県央史談会発行、47 号、平成 20 年 1 月）コピー
- 福井周道著「八菅山経塚」（『八菅のふだんぎ』ふだん記八菅グループ発行、第 1 号、1977 年 5 月 31 日
- 足立原幸雄著「八菅山光勝寺雜記」（『八菅のふだんぎ』ふだん記八菅グループ発行、第 1 号、1977 年 5 月 31 日）コピー
- 福井周道著「さがみ八菅山（八菅山大権現）」（『八菅のふだんぎ』ふだん記八菅グループ発行、第 2 号、1977 年 9 月 15 日）コピー
- 柳川ぎん著「八菅山のこども」（『八菅のふだんぎ』ふだん記八菅グループ発行、第

3号、1978年2月15日) コピー

■矢後美代子著「八菅神社の火渡り護摩」(『八菅のふだんぎ』ふだん記八菅グループ発行、第4号、1978年7月15日) コピー

■「乞食について 八菅グループ集いの記録」(『八菅のふだんぎ』ふだん記八菅グループ発行、第5号、1978年12月15日) コピー

■福井周道著「乞食考」(『八菅のふだんぎ』ふだん記八菅グループ発行、第5号、1978年12月15日) コピー

■関戸矢恵著「乞食と観音堂」(『八菅のふだんぎ』ふだん記八菅グループ発行、第5号、1978年12月15日) コピー

■吉成ウメ著「乞食」(『八菅のふだんぎ』ふだん記八菅グループ発行、第5号、1978年12月15日) コピー

■「玉滝坊」「八菅山」(『修験道 聖護院史 辞典』首藤善樹著、岩田書院発行、2014年) コピー

■雄仁親王 略年譜

■雄仁親王碑伝木

■『愛川町・清川村明細地図 平成23年版』(明細地図社、2010年)をもとに、『修験集落八菅山』(愛川町文化財調査報告書、慶應義塾大学文学部宮家準研究室編・著、愛川町教育委員会発行、昭和53年3月)から院坊名や石碑名などを加筆した(畠堀、2015年3月)

■『山岳修験』(第62号:山北・丹沢特集、2018年3月) コピー

「相模の国峰」再考—『相州愛甲郡八菅山付属修行所方角道法記』と
『相州八菅山書上』— 城川隆生

■「愛川町の社寺・史蹟・文化財」(『愛川町郷土誌』愛川町教育委員会・愛川町郷土誌編纂委員会編、愛川町発行、昭和57年)目次、213～259ページコピー

■宮家準・糸賀茂男「八菅山の修験道」(『日光山と関東の修験道』山岳宗教史研究叢書8、名著出版発行、1979年) コピー

《日本山岳修験学会『山岳修験』掲載論文》

■『山岳修験』(第18号:相模大山特集、1996年12月) コピー

大山信仰と大山講 田中宣一

大山詣の参詣路 高野 修

大山信仰の啓蒙活動 鈴木良明

近世の大山講と大山御師 菅根幸裕

■『山岳修験』(第39号、2007年3月) コピー

地方霊山の入峰空間と寺社縁起—丹沢と大山寺修験 城川隆生

■『山岳修験』(第58号:高尾山特集、2016年9月) コピー

丹沢山地・蛭ヶ岳と山岳修行者の空間認識 城川隆生

■『山岳修験』(第62号:山北・丹沢特集、2018年3月) コピー

『新編相模国風土記』と丹沢山麓の世界 久保田昌希

旅する民間宗教者—小田原木食上人— 西海賢二

山北の「お峰入り」考

久保田裕道

■『山岳修験』（第67号、2021年3月）コピー

『相州大住郡日向薬師縁起』仮名交り文縁起について 城川隆生